

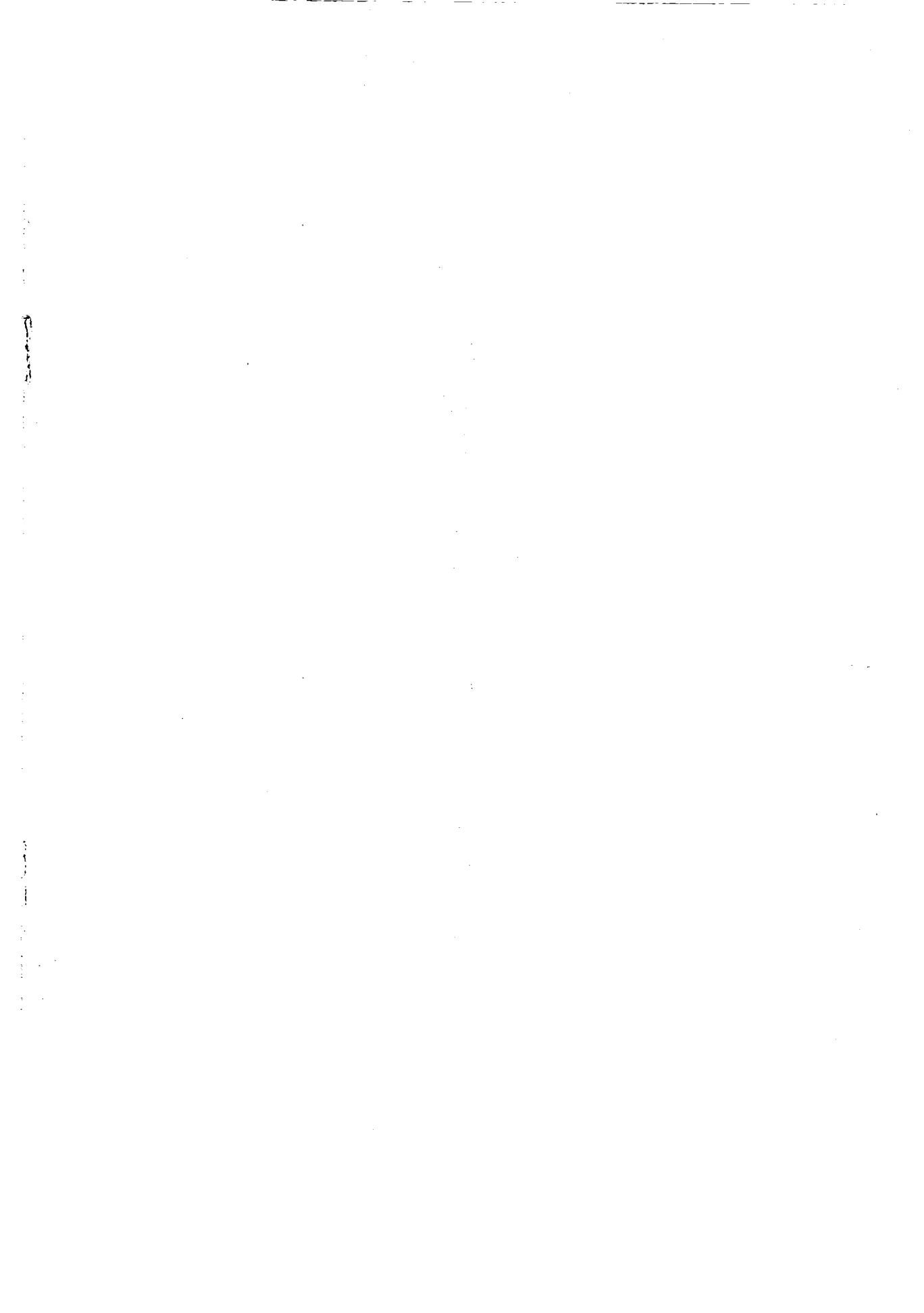
B 50.17
57.13
103



昭和三十三年二月十二日(火)

人口問題審議会第三回特別委員会議事速記録

於 九 段 会 館



一 閉 会 午前十一時四〇分

一 議 事 特別委員長及び同代理互選について

今後の審議日程について

一 閉 会 午前十二時

出席者 (五十音順)

会 長 永 井 亨

委 員 寺 尾 琢 磨 藤 林 敬 三

森 田 慶 三

幹 事 員 稻 葉 秀 三 北 岡 寿 逸

本 多 護 雄

幹事

中野正一(代)	加藤信太郎	島靜一(代)	吉田信邦(代)
有馬元岩(代)	立川宗侯(代)	佐竹浩(代)	磯野太郎(代)

午前十一時四〇分開会

○永井会長　それでは私から発言させていただいて、これから人口白書に関する特別委員会を開会いたします。

初めに委員長の互選を行いたいと思いますが、いかがいたしますでしょうか。

○森田委員　野村先生が一番専門ですが、ちようと欠席されておりますから……。

○寺尾委員　野村さんが適任ですね。

○仮議長（永井会長）　それでは野村委員に委員長をお願いすることにいたします。

○仮議長（永井会長）　次に委員長の代理をあらかじめきめておきませんといけませんものですか、おきめをお願いします。

○寺尾委員　森田さんがいいね。

○森田委員　私はめつたに出ないですから……。

○仮議長（永井会長）　けれども野村さんのお出でをな

いときは出ていただけかないといけませんね。

○森田委員　それでは野村先生がお出にならないときだけ出席いたします。

○仮議長（永井会長）　それでは委員長代理は森田委員にお願いすることにしたします。なお、人口白書の原案はこの三月までにまとめらるつもりで本多さんが原案を作っておいでになるのですか……

○森田委員長代理　それでは人口白書の作成についてお話し合いを願いますようか。

○藤林委員　例年はどういふことになつておるのですか。

○稲葉専門委員　一年一回出すのですか。

○寺尾委員　年次報告といたうのですから、毎年出すのでしよう。

○藤林委員　こつういふ厚生白書が出てきたけれども、何れも専門家ばかり見るのではなく、専門家でない人も見るのですよ。

○本多専門委員　それが意見が分れておるのです、皆に読めるものといふことと、それから學術的につばなものをを出してくれといふことと……

○北岡専門委員　私の希望としては、なるべくファクトを多くしてもらいたい。理屈

はこちらにも理屈があるから……。

○稲葉専門委員 白書の欠陥は、国民に読ませるにしてはむずかし過ぎます。

○北岡専門委員 「ナニこの野郎」といった感じがする、なまいきなという……。経

済の構造とかいったことを言わないで、事実を書いてほしい。

○寺尾委員 理論が多過ぎるね。

○北岡専門委員 理屈はあまり書かない方がいい、説明はいいですけれども……。

○森田委員長代理 さようは今後の進め方を議論すればよいのですね。——それでは本

多さんに書いていただけであるものを適当な時期に皆さんに配つていただいて、意見を述べていただく。今御意見が出たように、事実を中心にして統計、資料の分析、解説ということによって、人口政策ではないのだから、あまり理屈は言わぬことにして……。

○藤林委員 事実を言うのが人口白書ですね

○森田委員長代理 人口からあまり離れないのですね。

○北岡専門委員 なるべく統計はより多い方がいい。それからなるべく新しいもの、
去年のしつかりした統計をちゃんと入れて欲しい。一人人口の動態統計は暦年
のが一番普通なんですか。

○森田委員長代理 暦年締め切りです。

○北岡専門委員 しかし十月締め切りのもありますね。あなたのところのをごらんにな
りますと十月から九月までやっておりましょう。

○森田委員長代理 それは国勢調査と合せるためにです。つまり国勢調査は十月一日
でしょう。国勢調査と国勢調査をつなげるために一年ごとと切る、と思つたら
十月一日から九月三十日までのものを作る、それは最初だけです。

○北岡専門委員 三十三年の動態統計の入つたものを出していただくのですね。

○森田委員長代理 それは時間がかゝるのです。

○稲葉専門委員 十一月の末まではもうわかつておりますね。

○北岡専門委員 追加がありますね。

○森田委員長代理 去年のを締め切るのは三月です、三月未までに追加して届けてお
るものはみな繰り込みますから……。

○北岡専門委員 経済白書は六、七月ごろでしようね。

○森田委員長代理 概数で分析しておいて仕上げてもいいのです。

○北岡専門委員 アメリカの何とかいうのは二月初めに前年までのを出しますね。

○森田委員長代理 それは報道機関は拙速主義で……。数字があとで疲ったって大した
ことはありませんから……。しかし役所の仕事としてはその点困るのですね。そ
れですから七月を目標にしてやりましようか、いかがですか、よろしいでしょ
うか。

○永井会長 本多さんの方で原案を作つて下さるのは何月ごろですか、三月ですか、
四月ですか。

○森田委員長代理 概数で見当をつけて数字を作つていただく、そうして皆さんで検
討していただく、仕上げていただければよいですね

○ 藤林委員 謄写版刷りでもいいから配つていただいた方がいいですね。

○ 森田委員長代理 完全なものでなくつても筋書を謄写印刷してもらつた方がいいですね。

○ 北岡専門委員 それから国際連合の統計がかなりあるのですから……。

○ 本多専門委員 前ときは下村先生が委員長をしておられました、世界の中の日本
ということとで外国と比べて出しておりましたね。

○ 北岡専門委員 ことに死亡率で見ると、日本の死亡率は低くてもよいように思いますが、これは統計学者から言えば、きわめでまずいものでしょう、だから直さなければならぬ、年令別に直すのが大へんです。

○ 本多専門委員 それはやらなければなりませんね。

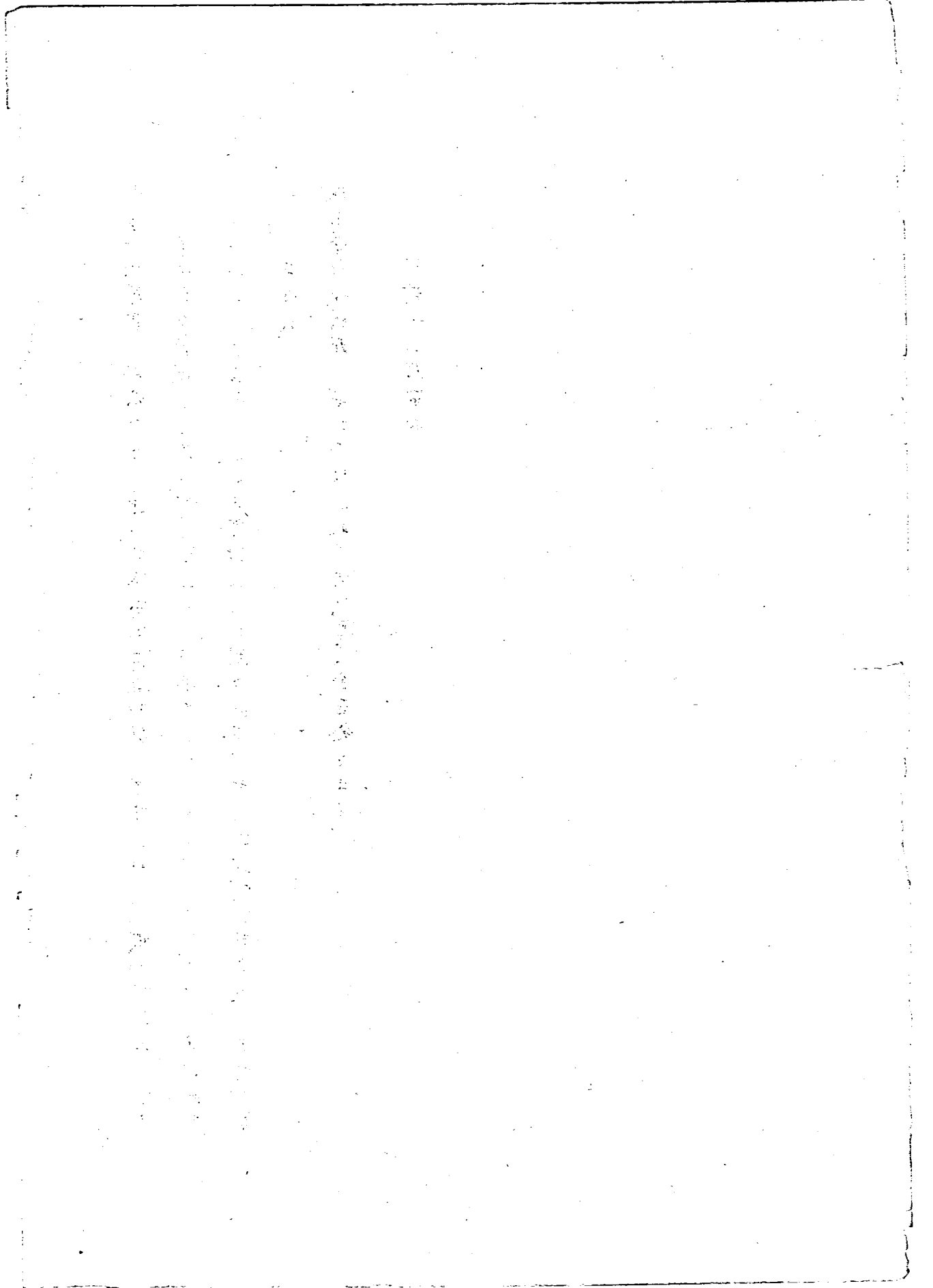
○ 北岡専門委員 ですからそのことを注意して出すのですね。死亡率はこれは日本の
は低く過ぎるけれども、こういう事情だということ……。

○ 稲葉専門委員 やはり外国のものを入れていただくことと事実を知るのに便利だね。

北岡専門委員、経済などと違つて根本的に違わなから、比較ができるのです。年令別を無視して死亡統計を出して日本の方がアメリカよりもずつと死亡率が少いというようなことを言われても困るので、その辺は何かちよつと工夫が必要ですね。

森田委員長代理、それではこれで特別委員会を終わります。

午前十二時散会



2000 1000



1 0 3 8 1 1